

パス名:経膈分娩

患者名【 様】

		産褥				
		分娩当日( 月 日)	分娩後1日目( 月 日)	分娩後2日目( 月 日)~分娩後3日目( 月 日)	分娩後4日目( 月 日)	退院( 月 日)
食事	妊産婦食 ※血圧や血糖値などに応じて治療食に変更となることがあります					
注射	★出血への対応を迅速に行うために分娩後2時間まで点滴を行います ★子宮の収縮を促し出血を最小限にするために子宮収縮剤を注射します					
内服	★子宮内感染予防のために抗菌剤を内服します ★産後の便通コントロールは子宮の収縮を促したり、会陰縫合部痛を軽減するために重要です。下剤が必要な方はご相談下さい ★会陰縫合部や子宮収縮の痛みが強い場合は鎮痛剤を内服できます  ※薬剤師による服薬指導を行っています。お薬に関するご質問などありましたらご遠慮なくお尋ね下さい。					★退院時処方(該当者のみ)
検査 処置	★産道に裂傷を生じていないかの診察 ★会陰切開部(該当者のみ)の縫合  ★子宮収縮や出血の確認 ★体温・脈拍・血圧の測定	★会陰縫合部の状態と、内出血や腫れがないか診察します  ★産後の状態確認のため採血・採尿を行います  状態に応じて退院まで観察を続けます			★退院診察 ・子宮の収縮状態を内診で確認 ・会陰縫合部の治癒状態確認	
安静	★分娩後8時間は安静時間です。トイレに行きたい時はナースコールでお知らせ下さい(※尿や便が貯まると子宮の戻りが悪くなり出血が増えることがありますので我慢せずにお知らせ下さい)	★スタッフより安静解除のお知らせがあったら特に制限はありません。子宮の収縮や悪露の排泄を促したり、下肢の浮腫悪化を予防するためにも起き上がる時間を徐々に増やしていきましょう				
清潔	★出血量に問題がなければ身体拭きと着替えを行います	★分娩後24時間でシャワー浴が可能です ★外陰部の清潔は子宮内感染予防や会陰縫合部の治癒を助けるために大切です。毎日シャワーすることで外陰部の清潔が保たれます				
説明	★分娩後オリエンテーション ★出生証明書と母子手帳の説明  	★授乳をはじめとした育児練習(抱っこことやし、オムツ交換、排気、着替え、沐浴)を行います ★赤ちゃんがNICUに入院の場合は搾乳の練習を行います ★乳房の変化や母乳分泌量・赤ちゃんの吸い着きには個人差があり、また日々変化します。各々に合わせたサポートを行います ★妊娠中と比較して産後は特にホルモンの影響が強く、また分娩を経験したこと・新生児との生活リズムの違いなどあって、身体以上に気持ちの面でも疲労を感じたり落ち込みやすくなりがちです。疑問や不安に感じることがあれば遠慮なくスタッフにお知らせ下さい。  ※当院は周産期専任の臨床心理士が在任しています。妊娠・出産を経て育児が始まるママにとって気持ちのケアはとても大切です。相談ご希望の方はお知らせ下さい			★退院後の生活で注意する点について ★産後の気持ちアンケートと面談    ※退院後の生活について不安な点がある方は看護スタッフまでご相談下さい(母乳外来・2週間健診を活用しましょう)	★退院手続き 次回受診日の確認 母子手帳の説明 お支払い
ご意見 ご要望				計画説明日 年 月 日 計画説明者	同意者ご署名  本人以外の場合は、患者様との関係	